

がん教育等健康教育の総合的な推進(全体像)

背景

【がん教育等現代的な健康課題に係る国の対応】

- 平成29年3月及び平成30年3月にそれぞれ改訂された中学校及び高等学校の学習指導要領においては、生活習慣病などの予防と回復について学習する際に、「**がんについても取り扱う**」ことを新たに明記した。
- がんのみならず、多様化・複雑化する児童生徒が抱える現代的な健康課題に関する対応するためには、**学校において専門家等の外部講師を効果的に活用することが推奨されている。**

課題

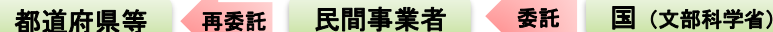
【本県におけるがん教育等現代的な健康課題への対応状況】

- 令和4年度文部科学省調査「がん教育の実施状況調査」の結果では、本県の学校における外部講師の活用状況は3.4%(全国平均11.7%)と、**学校が外部講師を活用するための体制を充実させる必要がある。**
- 令和2年度に「栃木県がん教育ガイドライン」を作成したが、コロナ禍において研修会等が中止となり、有効に活用することができなかった。
そこで、**改めてガイドラインを見直すとともに、学校において外部講師を効果的に活用していく必要がある。**

目的

学習指導要領に対応した「がん教育」の普及を図るとともに、生活習慣病や精神疾患等の現代的な健康課題の理解促進及び児童生徒の生活行動の改善に向けて、学校において外部講師を活用した教育活動を推進する。

事業のスキーム



取組内容

がん教育推進協議会

- 目的:外部講師を活用して実施するがん教育を推進するための体制整備と、講話等の在り方に関するガイドラインの活用・見直し等について検討するとともに、事業成果を検証する。
- 構成員:大学教授、がん専門医、がん経験者、民間団体、校長、保健主事、養護教諭
- 事務局:健康体育課(学校保健・給食担当)
※健康増進課(がん対策担当)と連携
- 開催:年2回(8月、2月予定)
- 内容
 - ①がん教育の推進に向けた計画の検討、実施に向けた助言及び実施後の成果検証
 - ②協議会内にワーキングを設置し、外部講師活用の体制整備、「栃木県がん教育ガイドライン」の見直し、生徒向け映像教材の作成 → ワーキングの役割等、詳細は別紙参照

がん教育研修会

学校と外部講師が連携し、効果的ながん教育が推進できるよう、外部講師として想定される学校医・がん専門医等が、がん教育の効果的かつ適切な進め方を身に付けるための研修会を実施する。

- 講師:大学教授、がん専門医等
- 対象:学校医、がん専門医、がん経験者等

※健康増進課(がん対策担当)と連携して対象者を掘り起こし、講師名簿の作成にもつなげる。

外部講師による講話等の実施

外部講師の活用により、がんや生活習慣病をはじめとした、現代的な健康課題(心の健康)に対応するための正しい知識を身に付け行動することができるよう、自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育てるための講話等を実施する。

- 講師:大学教授、がん専門医等
- 対象:生徒、保護者、教職員

※希望する学校の実情に応じて、クラス単位又は個別指導にも対応可能とする。

目指す姿

自他の健康と命の大切さに気付き、自己の在り方や生き方を考え、共に生きる社会づくりを目指すことができる児童生徒の育成

がん教育等健康教育の総合的な推進(推進協議会とワーキンググループの連携)

がん教育推進協議会

【第1回協議会(8月)】

・がん教育推進全体計画の検証、助言 ・各種取組計画の検証、助言

【第2回協議会(2月)】

・各種取組の成果の検証 ・次年度取組の助言

※協議会内に各項目毎のワーキンググループを設置する。

連携

ワーキンググループ(WG)

【役割】協議会構成員を中心に、取組の計画の検討、取組の実践、具体の作業等を行う。

【構成】①外部講師活用の体制整備 ②「栃木県がん教育ガイドライン」の活用・見直し ③生徒向け映像教材の作成

WG	①外部講師活用の体制整備	②ガイドラインの活用・見直し	③映像教材の作成
メンバー	◎井上委員を中心に 事務局：健康体育課担当、健康増進課担当	◎久保委員を中心に 事務局：健康体育課担当、健康増進課担当	◎井上委員、久保委員、栗原委員を中心に 事務局：健康体育課担当、健康増進課担当
取組内容	○各がん拠点病院(県内9カ所)に、外部講師紹介等の相談窓口を設置する。 《健康体育課》 ・外部講師紹介までの手順について整理 ・相談窓口や相談方法等について各学校へ周知 《健康増進課》 ・各がん拠点病院に対し、がん教育に関する協力依頼 ・外部講師リストの作成依頼 ※両課連携し対応する。	○令和2年度に作成「栃木県がん教育ガイドライン」について 《活用の推進》 ・内容について教職員対象の研修会において説明し、活用について周知 《見直し》 ・内容の検討 ・掲載データの差し替え ・参考資料の確認 等	○生徒向け映像教材の作成 《井上委員》がんについて 《栗原委員》がん体験談 ○教職員向け研修映像の作成 《久保委員》がん教育について 【作成・活用まで】 ・内容等について検討 ・説明資料の作成 ・動画撮影、編集 ・活用方法について各学校へ周知